

1. 基本理念と基本方針

《基本理念》

- 納得と安心感を与える医療を実践します
- 良質で適切な医療を提供します
- 医療活動を通じて社会に貢献します

《基本方針》

- 患者主体の医療の実践
- 医療における質と安全の確保と保証
- 医療の透明性の確保と保証
- 救急・災害医療体制の整備
- 地域医療機関との連携の強化
- 信頼される医療人の育成
- 医療の発展への貢献
- 健全な経営基盤の確立

〔各部署の基本方針と目標〕

【医 局】

〈基本方針〉

- ・患者とのパートナーシップをはかり、安全かつ良質な医療を実践する
- ・エビデンスに基づいた高度医療を目指す
- ・基幹病院として地域医療連携を強化する
- ・診療科間および職種間の連携を強化し、チーム医療を促進する
- ・教育および指導を充実し、優れた医療人の育成に努める
- ・医療情報の積極的開示を行う

〈目標〉

1. 医師不足の診療科の人材確保ならびに協力体制を推進する
2. 診療科間のコミュニケーションを強化する
3. D P Cに対応した医療を実践する
4. 救急医療体制を整備する
5. 紹介率、逆紹介率の向上に努め、地域医療支援病院の指定を目指す
6. 地域がん診療拠点病院の指定を目指す
7. 医療情報の公開をすすめるためホームページの利用を推進する
8. 研修医の教育、指導を充実させる

【看護局】

〈理念〉

- ・患者様の権利を守り、個別性を尊重します
- ・地域の中核病院として、急性期、救急、災害のニーズに対応できる質の高い看護を提供します
- ・主体性を持ち、専門職としての継続学習につとめます

〈重点目標〉

良好な人間関係をつくり、看護の活性化をはかる

〈目標〉

1. 看護の質の向上
 - 1) 急性期ケア推進室の活用
 - 2) 医療従事者との役割分担による看護業務整理

- 3) 緩和ケアの確立
- 2. 経営参画
 - 1) 経営改革プランの実施
 - ・ 7 : 1 の維持
 - ・ 病床利用率 92%
 - ・ 病床利用率の向上として糖尿病の教育入院・糖尿病認定看護師による糖尿病合併加算などの取得
 - ・ 採血チームの確立
- 3. 働きやすい環境作り（ワークライフバランス）
 - 1) 選べる看護体制を各病棟単位で検討
 - 2) 看護師の定着（看護師確保）対策
- 4. 地域連携の強化・外来の強化

〔看護局各部署〕

【5階海側病棟】 <目標>

- 1. 看護の質の向上のため、専門分野に加え、医療に関する知識・技術を身につけ活用する。
 - 1) チェックリストの見直しと活用ができる（正答率 80%以上目標）
 - 2) カンファレンス内容の充実と内容の共有により、個別的な看護の提供ができる
 - 3) 各自の役割認識と役割達成
 - 4) 技術を深める勉強会ができる（嚥下訓練など、自部署と他病棟に対して）
- 2. 地域連携パスの活用
 - 1) 脳梗塞（軽症）パスの運用ができる
 - 2) 連携パス対象患者に対し 1 週間以内に同意を得ることができる（目標 95%）
 - 3) ステンットのパスの導入と活用ができる

【6階海側病棟】 <目標>

大目標：全員が組織の一員として自己の役割を認識すると共に、専門性を高め、患者様の安全・安楽を配慮した看護実践ができる

- 1. 看護の質の向上
 - 1) 主科の専門的知識を高める学習会の開催
 - 2) 退院指導用パンフレットの作成
 - 3) インシデント・アクシデントの分析をし防止策の立案と実施
 - 4) 感染対策に沿った実施が出来る
- 2. 働きやすい環境作り
 - 1) 二交代勤務の続行にむけて業務内容を見直す
- 3. 経営参画
 - 1) 病床利用率 92%を目指し空床を有効利用する

【NICU/GCU】

<重点目標>

- ・ NICU/GCU の看護師として自己の役割を認識し、主体的に看護実践ができる。
- ・ 周産期センターの一員として、良好な人間関係をつくり、協働しながら看護実践ができる。

<具体的目標>

- 1. 看護の質の向上を図る。
 - 1) エビデンスに基づいた安全な看護が実践できる。
 - ・ アクシデント（レベル 3 以上）ゼロ
 - ・ 感染予防のための対策を実践・継続
 - 2) NICU/GCU 教育評価基準を作り個々に合った教育ができるような土台作りをする。
 - ・ 勉強会・学習会の開催
 - ・ 院内・外の研修に積極的な参加

- ・TQM の取り組み
 - ・看護研究
 - ・NICU 内の各テーマにそった学習
2. 経営参画意識を持ち効率の良い看護実践ができる。
 - 1) リリース体制及び蘇生協力の実施で周産期センターのメンバーとして協力できる。
 - 2) 在庫物品の適正化を図る。
 - 3) 看護支援システムの導入ができ、運営ができる。
 3. 働きやすい環境作りを考える。
 - 1) NICU/GCU で働きやすい看護体制を検討する。

【6 階山側病棟】

〈重点目標〉

- チームワークを強化し相談し合える環境を作る。
 →個人目標レベルで具体策を掲げ目標達成を図る。
 →協力状況が良くなる。新人等の不安な声が減る。

〈具体的目標〉

I 看護の質の向上を図る

1. 母子同室体制を整える
2. 産科救急にスムーズに対応できる
3. TQM に取り組み看護の質の向上に活かすことができる
4. 学習会企画運営

II 経営参画

1. 周産期センターの経営状況を周知し経済意識を担う
2. 適正な物品管理

III 働きやすい環境作り

重点目標に準ずる

IV 地域連携の強化

退院後の訪問指導等の情報を広め育児支援を促進する。

【7 階海側病棟】

〈目標〉

1. 看護の質の向上
 - 1) 急性期ケア推進室と連携し、重篤な患者が危機的状況から早期に脱することが出来る援助。
 - 2) 緩和ケアチームと共に計画、立案、実施する。
2. 経営参画
 - 1) 病床稼働率 92%を目指す。
 - 2) 新しいクリニカルパス作成（7種類）をする。
3. 働きやすい環境作り
 - 1) 学生指導を通して入職者を増やす。
 - 2) 働きやすい環境を作り、中途退職者をなくし、看護師の定着をはかる。
 - 3) 二交替制の導入、試行、評価
4. 地域連携の強化・外来の強化
 - 1) 退院調整スクリーニング表 100%使用

【7 階山側病棟】

〈目標〉

1. 看護の質の向上
 - (1) 患者満足度調査の継続
 - (2) 各医療従事者との役割分担を話し合い
 - (3) 院外看護研究発表（1題以上）
 - (4) 日勤勤務において、受け持ち看護師制の導入
2. 経営参画
 - (1) 正確な定数管理に継ぎ時間の無駄・コストの無駄を抑える。
 - (2) 採血業務量を把握（時間・人数）
 - (3) スタンダードプリコーションの徹底

- (4) インシデントゼロレベルが年間 250 件出せる意識づけ。
- 3. 働きやすい環境作り
 - (1) クリニカルラダー導入の基礎を作成
 - (2) 職員満足度調査を実施し、職場環境を整える。
 - (3) 4 人準夜勤務体制の導入
 - (4) 希望の夜勤勤務体制を導入し、精神的・身体的ストレスを軽減。
- 4. 地域連携の強化・外来の強化
 - (1) 入院時より患者状況に応じて、MSWへ報告・相談をおこない、早期より退院に向けての活動を共に行う。

【8 階海側病棟】 <目標>

- 1. 看護の質の向上
 - ・急変時対応ができる
 - ・患者カンファレンスが毎日実施できる
 - ・患者のベッド周囲の環境整備が出来る
 - ・病室へ行く時間が増える（業務整理の実施）
- 2. 経営参画
 - ・物品の定数管理が出来る
 - ・稼働率 92%以上維持できる
 - ・パス利用率の向上
- 3. 働きやすい環境作り
 - ・部署内の整理整頓が出来る
 - ・業務開始時間を今より遅くできる
 - ・PDA による輸液の実施が出来る
 - ・情報伝達の徹底
- 4. 部署教育のシステムができる
 - ・部署での新人教育、既卒教育、HCU 教育、リーダー教育の方法を考え必要なマニュアルの整備が出来る

【8 階山側病棟】 <目標>

- 1. 看護の質の向上
 - 1) 看護体制の見直し
 - *機能別からチームナーシング・継続受け持ち制へ
 - 2) スタッフの知識の向上を図る為の看護教育
 - 腎臓内科疾患・糖尿病疾患をはじめ、当病棟で関わる疾患についてスタッフ全体の知識の向上を図る教育の実施。
 - 3) 糖尿病患者に対するクリティカルパスの作成
 - (教育入院：4 日および 7 日パス)
- 2. 経営参画
 - 1) 糖尿病教育入院患者の受け入れ
 - 2) TQM 活動により業務の改善を行なう
- 3. 働きやすい環境作り
 - 1) 選べる看護体制の検討（ワークライフバランス）
 - 2) 看護師の定着
 - 生き生き働くための職場作りを目指して

【ICU/CCU】 <目標>

- 1. 看護の質の向上
 - 1) ICU 看護師の育成と安全意識作り
 - ① 新人・新任・ローテ看護師育成に全員が携わり取り組み
 - ② 現任教育で各年代にあった目標設定
 - ③ 緊急時(部署内・院内)対応ができる(予測性・即応性・状況判断力)
 - ④ インシデント 2 が 50%削減、ヒヤリハットが全件数の 50%を占める
 - ⑤ 褥瘡・感染予防し発生時の早期対応と要因分析できる

⑥CF/病棟会などを通じて Ns、Dr、およびメディカルスタッフとの事例
検討が実施できる

2) 急性期ケア推進室の活用

① 専門チーム・緊急時対応・困難な事例に対し推進室を活用する

2. 経営参画

1) 薬品・物品の不要在庫確認を定期的に行う

2) リリース体制と病床稼動にあわせた人材管理

① ICU重症度分類の点数にあわせた夜勤人数調整とリリース体制の検討

3. 働きやすい環境作り（ワークライフバランス）

1) 選べる看護体制の検討

【中央手術室】 <目標>

1. 新人教育ラダーに則って教育し、新人の年間到達目標を達成する

2. 看護師由来のレベル2以上のインシデントを3件以下とする

3. クリーンホール業務の運用方法を修正し実施する

4. コミュニケーションを良くし、中途退職0及び年度末退職を2名以下とする

【中央放射線部】 <目標>

1. 看護の質の向上

・造影経過記録用紙を見直し、伝達（申し送り）内容の充実を図る

① 使用部署と共に検討し修正、評価

・心臓CTを受ける患者さんの検査説明を実施する

・放射線部看護手順の見直し及び作成

・共通看護手順の整理

・院内研修及び学習会参加90%以上

・部署内教育として2回学習会を実施

2. 経営参画

・救急カート・各検査室・倉庫の在庫の整理とチェック

・放科オンコール体制と救急外来の一本化の可能性を考える

・外来看護師が放射線看護の知識を付け、実践できる教育体制を取ることができる

【外 来】 <目標>

1. 外来看護の質向上に努め患者サービスを充実させる

・救急患者及び救急場面での看護実践力を高めることができる

・診察室での患者さんのプライバシーを尊重することができる

・診察後の検査説明、生活指導について配慮することができる

・患者さんの権利擁護を意識した接遇に努める事ができる

・外来業務手順、マニュアルの遵守し患者さんの安全を保障する

2. 病院運営、経営に協力し効率化を図った業務を推進する

・各科の応援マニュアルを作成し、どの科でも最低2ブロックの対応ができるようにする

・外来看護師の役割を明確にし役割分担によりチーム医療の推進と充実を図る

・専門外来の強化のため各ブロック主催で学習会を実施できる

・放射線科看護師が救急外来において看護実践ができるよう教育を行なう

3. 自己のキャリア開発を意識し目標に向かって積極的にセルフマネジメントができる

・自己及びチームを大切にしたい目標を設定することができる

・成果が得られたという実感、達成感を自己評価で出すことができる

・担当の科におけるセミナーおよび学会に1回は参加することができる

- 【感染症センター】 <目標>
感染症センターの稼働時の体制を整える
- 【薬剤科】 <基本方針>
1. 薬の専門家として、患者様にとって有益な薬物療法を提供する
2. 薬によるインシデント・アクシデントを減少させ安全な薬物療法を提供する
3. 臨床薬剤師として医療チームに貢献する
4. 薬剤師職能を高めるため、研究心を持って日々努力する
- <目標>
薬剤管理指導実施率 85%達成
- 【中央放射線部】 <基本方針>
・各診療科の利用しやすい中央放射線部を作る
・画像診断機器を安全に利用できる体制を作る
・画像診断機器を効率的に利用できる体制を作る
- <目標>
・ヒヤリハットの報告数を増やす。
・画像診断機器の安定稼働と有効活用
・予約待ち日数の短縮
・現在の医療水準に見合った画像診断機器への整備
- 【中央検査部】 <基本方針>
・常に患者さまの立場に立って考え行動します
・精度の向上を計り、良質な検査結果を提供します
・業務・経営改善に努力し効率のよい検査を行います
- <目標>
1. 検査結果の迅速化（待ち時間の短縮）
①DPCによる外来検査の増加に対応
②臨床医師が早く結果を求める項目の見直し（外注検査の検討）
2. 検査教育の充実
①認定試験受験者の育成
※超音波検査士（消化器領域）1名合格
技術向上のため、後継者育成に協力する
3. 病院全体を働きやすい環境にするための努力
①新人研修医に対して検査部で応援できることを提案する
※検査各部門で研修医に出来ることを整備する
②採血業務の応援
※採血に関して検査部から提案する
- 【臨床工学室】 <基本方針>
・医療機器の質と安全の確保
・信頼される臨床工学技士の育成
・経営意識の向上
- <目標>
・各人が担当する医療機器の保守管理を徹底する。
・各人が行う業務の質の向上と各人の業務範囲の拡充
・医療機器・医療消耗品の償還価格・納入価格及び臨床における手技料を把握する。

- 【栄養管理センター】 <基本方針>
 医療の一環として患者の疾病に即した栄養量を満たす食事を医師の指示の基に提供し、患者の早期に回復できるよう役割を果たすことを目的とする。また、他部門と連携し、チーム医療の一員として貢献する。
- <目標>
- ・組織力を強化し業務の効率化に努める
 - ・嚥下困難食の見直し、ゼリー食を実施する
 - ・地域連携栄養指導の受入れや糖尿病教育入院パス実施する
 - ・動脈硬化、CKDの栄養指導の実施
 - ・学会認定資格の取得と更新を積極的にすすめる
- 【地域医療連携室】 <目標>
 地域ぐるみの医療サービスシステムを効率よく円滑に運用していくこと
- <業務>
1. 他の医療機関との相互紹介を円滑に運用する；診療予約業務
 2. 医療機器の共同利用；検査予約業務
 3. 開放病床の管理・運用
 4. 研究会、臨床検討会の開催；りんくうカンファレンスなど
 5. 健康増進、病気の予防などの教育活動；市民健康講座
 6. 保健、福祉機関、長期ケアサービス機関などとの密な連携
 7. 広報活動
- 【事務局】 <基本方針>
- ・医師の確保
 - ・経営の健全化
- <目標>
 公立病院改革プランの策定
- [事務局各部署]
- 【総務課】 <基本方針>
 救急、災害、周産期、高度医療等の公立病院としての役割を果たすとともに、地域の基幹病院として維持継続していくため、さらなる医師等職員の確保をはじめ医療供給体制の充実を図り、患者さまのアメニティ向上に努め、安心、安全な医療を提供します。その基盤となる財務において、健全化を図り、安定的な病院経営を実現します。
- <目標>
 公立病院改革プランを策定し、病院経営の改善を努めるとともに、公立病院の再編・ネットワーク化の構築に取り組みます。
- 【医事課】 <基本方針>
 病院の基本方針に基づき、患者様に最善の医療と情報を提供し、患者様やその家族の方が安心して病院を利用できるように努力する。
- <目標>
1. 患者様の人権を尊重し、最善の医療サービスに努める。
 2. お互いに尊敬と強調の心を持ち、職員が互いに信頼あう。